

市のホストタウンに縁のある方を2回に分けて特集します。

今回は彫刻家の浅賀正治さん（亀岡地区）に、ブルガリア共和国との交流について、ご紹介いただきました。



交流のきっかけ

1985年に開催された第7回ブルガリア・ガブロヴォ国際ビエンナーレ展で金賞を受賞したことがブルガリア共和国との交流のきっかけとなりました。受賞は全く予想外のこと、大変驚きました。8,000kmも離れた見知らぬ国から最大の激励をいただいたのです。彫刻の恩師である小金丸幾久先生に報告したところ、先生はしみじみと語ってくれたのです。「恩返しをすることが大切だよ」と。

ブルガリアの芸術家を招待

何をどう行動するかは私の挑戦にかかっていました。この決意が、1994年のアーティスト・イン・レジデンス事業の自費、独自での企画開催につながりました。

この事業は、芸術家を工房

に招待し、作品制作を行うものです。石をテーマとしたレジデンスは、日本で初めてでした。現在もこの事業は継続していて、これまでに10人のブルガリア人作家とその家族を工房へ招待しました。平和への願いが込められた石彫刻の数々は、石の街である桜川地域から世界へ発信される石文化として、年々反響をいただいています。

この事業が継続発展した理由として、3つの特長が挙げられます。第1は、来日したブルガリア人作家と家族たちは誠実で、努力を惜しまない方々が多かったことです。郷土愛、母国への誇りを示す真剣な姿が見られました。第2は、市民の中から自発行動する人の輪が広がり、物心両面から応援いただいたことです。これにより、遠路から人も訪れる美術館へと発展できました。第3に、国際交流や世界の平和という言葉が身近な時代へと変化し、私達の生活と世界のつながりを体験させる事業になったことです。

ブルガリアのホストタウンとして



浅賀さんの工房で作品制作をしたブルガリアを代表する芸術家たち

石文化の役割は大きく、人々の平和と人生に直結することもあります。石の本場、桜川市はすでに日本一の石材産業地として知名度、実績、人材、技術、経験、歴史などが蓄積されています。これらを生かして、世界の人々の平和や暮らしに役立てる工夫こそ、桜川ホストタウン事業であると考えます。コロナ禍の時代にこそ、新しい発想とやわらかい心のネットワークが国際交流に広がるとうとしているのではないのでしょうか。

この事業に関心を寄せてくださる皆さまに更なる報恩の挑戦をすることを誓います。

茨城県指定

お子様の成長について、誰にも相談できずに悩まれていますか？



児童発達支援・放課後等デイサービス

こどもサークル 桜川

〒309-1215 茨城県桜川市御領 1-39

☎0296-73-6364（月～土曜日 9:00～18:00）

随時見学受付中♪ ★8:00～19:00 内のご利用はご相談下さい♪

例えばこんなことが気になったら...

- ☒ 発音が不明瞭
- ☒ 落ち着きがなく、集中して遊べない
- ☒ 動きがぎこちない
- ☒ 名前を呼んでも振り向かない
- ☒ 細かい作業・全身を動かすことが苦手



「こどもサークル」は、成長や発達に課題のあるお子様（未就学～高校生）に対し、専門的な支援を行う場所です。学習や運動プログラムを通じて、お子様の「できた!」を増やし、自立を促します。

ホームページもご覧ください♪

こどもサークル桜川

検索